

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	田尻俊幸
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3118
事務事業名	12420 防災施設整備事業						
所 属	050100 総務部・総務課						
施 策	03021300 防災体制の充実						
会計	01 一般会計						
科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費						
事業	110000 防災施設整備事業						
事業目的				事業概要・効果			
災害発生時に被害を最小限に止めるための施設、設備の充実を図る。				同報系防災行政無線等の施設の整備充実により災害に対する市民の安心・安全が図られる。 長野県が行う長野県衛星系防災行政無線の更新に、市が1/2負担するもの。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・長野県グリーンニューディール基金事業を活用し、防災活動センター及び多目的（防災）広場備蓄倉庫公衆用トイレ太陽光発電設置工事を実施 ・同報系防災行政無線等のデジタル化更新に向けて、課内検討。 	長野県が行う長野県衛星系防災行政無線の更新
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	地域の防災拠点施設の充実					単位	施設
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	16					16
	実績	7					16
指標選定の理由	大規模災害時の通信手段の確保						
最終年度目標の根拠	16カ所内訳 小学校11校 中学校4校 峰の原こもれびホール						
指標名						単位	
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		30,294	8,510
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	5,900
	その他	0	2,531
一般財源		30,294	79
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	嘱託職員	0.2	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	720.8
	嘱託職員	541.0	270.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	541.0	991.3
市民一人当たりの経費		0.6	0.2
総額		30,835.0	9,501.3

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	30,294	防災活動センター及び多目的(防災)広場備蓄倉庫・公衆用トイレ太陽光発電設置工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8,510	長野県衛星系防災行政無線更新負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民の生命・財産を守るため、防災拠点となる施設に県の基金を活用して、太陽光発電設備を設置することができた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	太陽光発電設備を設置したことで、災害時用電力の蓄電を行うほか、施設で使用する常用電力を賄った上、更に余剰の電力を売電し将来的な設備改修費用を積み立てることができている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	防災用につき、効率性を求めるものではない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

県の基金を活用し、効果的に太陽光発電設備を設置することができた。今後は、災害時に効果的に使用できるようマニュアルなどを整える必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
災害対策に係る施設整備は、市民の生命と財産を守る重要な施策である。		長野県衛星系防災行政無線の管理運営を適正に行っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	